

株式会社レゾナック・ホールディングス 2024年2Q 決算説明会 Q&A要旨

日時：2024年8月8日（木）17:00～18:00

説明者：取締役 常務執行役員 CFO 染宮 秀樹

*内容は、開催日時点の情報に基づいております。

【全社】

Q 今年度の業績予想を見直された結果、EPSについても増えている。増配の可能性等、株主還元の方針について伺いたい。

A 今期の最終利益には、固定資産売却益で膨らんだ特別利益の影響が含まれ、増配については今後安定的に継続できるかという観点も考慮し、慎重に検討していきたい。また、当社は、営業キャッシュ・フローの半分から2/3を優先的に設備投資に配分し、残りを株主還元や借入金返済に充てるキャッシュ配分方針を掲げています。今後の金利水準を見据えながら、借入金の返済を進めていく。

【半導体・電子材料セグメント】

Q 上期の業績は、前年対比で半導体後工程材料とデバイスソリューションが大きく増収ということだが、背景や製品単位の濃淡について伺いたい。

A デバイスソリューションの中で伸びたのはHDメディア。顧客の在庫水準が適正化され、数量が伸びたことが背景。構造改革による固定費削減で、利益も改善し上期累計で黒字化を実現した。後工程材料は、全般的に伸びている中、特にNCFやTIM材、銅張積層板といったAI関連材料が伸びている。

Q 半導体前工程材料の売上が1Qから2Qにかけて横ばいとなっている背景を教えてください。また、下期の見通しについても伺いたい。

A 前工程については、顧客におけるウエハ在庫の水準はまだ高く、1Qから2Q、下期にかけて、緩やかな回復基調ではあるものの、売上高としては概ね横ばいで推移することを見込んでいる。

【モビリティセグメント】

Q タイや中国市場の動向を踏まえ、1Qから2Q、下期にかけての業績動向について、説明いただきたい。

A タイの市況悪化による当社業績への影響は、2Qに拡大し、下期も継続する前提で業績予想を組んでいる。中国市場向けの販売不振の影響は継続しているが、基調に特段変化は生じていない。

【ケミカルセグメント】

Q 石油化学の通期業績予想は、前年対比で増収・増益か。パーシャル・スピンオフについての進捗も合わせて伺いたい。

A ナフサ価格上昇に伴い、石油化学は前年対比で増収・増益を想定している。パーシャル・スピンオフに向けては、2024年8月1日に分離準備会社を設立する等、準備を進めている。

Q 黒鉛電極は、市況の悪い状況が継続する中、貴社の生産能力が現状のままで良いと考えているか、伺いたい。

A 黒鉛電極の、生産能力の最適化についての議論を社内では行い、検討している。決まったことは現状ないため、今後のアナウンスをお待ちいただきたい。

以上

*本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。